



できるかな?
あたまから
つまさきまで

あのおはるへこあおむし」を描いたエリック・カールが描いた絵本です。副題に「あたまからつまさきまで」とあります。ペンギンが頭をくると回すと「できるよ」と応え、キリンが首をくいと曲げると「できるよ」と応えます。ハッファローが、サルがと、つぎつぎ動物たちが挑戦してきます。エリックは「絵本の動物といっしょに、頭や手足を動かしてみよう！ すこしずつまねっこゲームを繰り返し続けると、ダンスがうまくなったり、スポーツ選手のように見事な体操だつてできるよになる」といいます。

お父さん、お母さんが動物役になって、お子さんが動物の真似をする読み聞かせをやってみるのはいかがでしょう。

図書室から Book Guide No.318

できるかな?

エリックカール/作
くどう なおこ/訳

信成社
1200 円+税



NPO あかい屋根
特定非営利活動法人 あかい屋根

NPOあかい屋根広報紙

ひまわり

発行: 特定非営利活動法人
あかい屋根 ひまわり編集部
044-976-0444

第595号
2026/3/1

すがお工房

菅生こども文化センター

いつでも工作

ぞうしきクラフト

蔵敷こども文化センター

菅生こども文化センターでは「すがお工房」という名称で、蔵敷こども文化センターでは「ぞうしきクラフト」という名称で取り組んでいる「いつでも工作」は「子どもたちが好きな時に工作に取り組むことができる」「それも月毎にテーマを変えて」というコンセプトを持っています。この事業がどのようにして行うようになったのかを御案内し、より多くの子どもたちに御利用いただければと思います。

それは今から6年前のことです。コロナが流行し、子どもたちはマスクを着せさせられ、学校が休みになり、それに伴いこども文化センターも休みになってしまいました。子どもたちは行き場を失い、家にこもるしかなく。そのストレスは大変なものでした。

一方、職員もまた多くのストレスを抱えていました。毎日こども文化センターに勤めているのに、まったく子どもの声が聞こえない日が何日も続きました。普段子どもたちが来館しているとできない「遊具の整備」や「図書の本の整備」に取り組みましたが、やはり子どもたちのいない寂しさははかり知れないものがあつたのです。

そんなある日のこと、一人の職員が竹を切り出し、毛糸のボンボンを作り、ホームページにアップしたいといった



最初にホームページにアップした作品

のです。三密を避けて、子どもたちと関わりを持つという面白い試みでした。一人の職員の発想が菅生の職員の共感を得て、お隣の蔵敷こども文化センターにも派生したのでした。

それがコロナが落ち着いた今も残っているのです。子どもたちはある意味まぐれです。「やりたい時」にいつも材料があり、「気が向いたとき」にいつも何かできるものが準備されている、そうした取り組みが「いつでも工作」なのです。



毛糸の帽子



板返し



折り紙絵馬



ミサンガ

なが い 早春賦 編集後記 139

◆♪「春は名のみ風の寒さや・・・」誰もが知っている早春賦の一節である。吉丸一昌：作詞、中田章：作曲の日本を代表する歌曲であり、旧制長野県立大町中学校の校歌作成のために訪れていた吉丸が作詞し、旧制大町実科高等女学校で愛唱歌として歌われていた曲だという。「浜辺の歌」と共に私の大好きな歌である。

◆「早春賦」を口ずさむと、安曇野の広大な北アルプスのまだ雪の残る山々を遠景にし、青々とした水田に抜けるような青い空を私はイメージする。いつも安曇野に行ったときは青空という訳ではないが、たまたま安曇野に行ったときに見た美しい風景が印象的だったので、私の印象はいつも晴れ渡っているのである。だが「早春賦」の歌詞とは合わない。「早春賦」は2番で♪「今日も、昨日も雪の空・・・」とはっきりと歌っているし、全体的に谷の鶯は歌おうと思ったけどあまりもの寒さに今は時ではないと声も立てない、葦の芽は角のように芽吹いてきたがあいにく冬に逆戻りだ、と言っている。これは私の安曇野のイメージ青空とは真逆の空である。なぜ脳と違うという現象が起こるのであろうか。

◆それは、あまりにも美しいメロディーのせいとは言えないか。6/8 拍子で作曲し、暗い歌詞は普通マイ

ナーで作曲するのがメジャーである点から明るく春を待ちわびる歌になっているようだ。小鳥のさえずりが聞こえるような、小川のせせらぎが聞こえるようなメロディーになっているように思える。小川のほとりには道祖神がたっており、さらに勝手な私の思いを言わせていただけるのなら、春を謳歌するように複数の女子学生がこの歌をハモリながらフキノトウが芽吹く田の畦道を行く光景が目浮かぶのだ。この歌を口ずさむたびに決まって目に浮かぶ光景だ。勝手な「妄想」と言える。

◆私の「早春賦」のイメージに似合うのが「安曇野ちひろ美術館」である。絵本画家の「岩崎ちひろ」の美術館が安曇野にある。安曇野に建てた理由が、母親の実家があり、何度も訪れたという。あの透き通るような「ちひろ」の子どもと花を描く水彩画が、「早春賦」を歌う女学生の透き通る歌声と重なるのだ。「ちひろ」の画集の表紙を参考までに載せておく。抜けるような子どもと花が素敵に描かれている。少し遠いが、春の一日を、安曇野に足を運んでみてはいかが？

針山直幸



蔵敷こども文化センター

写真で語る

こぶんフェスティバル 無事終了

1月30日(日)に蔵敷こども文化センターで、「こぶんフェスティバル」が開かれ無事終了しました。この「こぶんフェスティバル」は手作り感満載で、天井からは手作り提灯がぶらさがり、その下を子どもたちが行き来していました。子どもたちの「やりたい」を大切にしたいこの祭り……。中には子どもたちだけのお店もあり「不慣れな子どもたちが一生懸命やっていますのでどうぞご理解いただき……」幾度となく場内アナウンスが流れていました。



天井からは手作りの提灯が

材料を受け取り「工作」にとりくむ子どもたち

食べ物やさんは、売り手も作る側も大忙し。きちんとマスクをしてやっています

ゲームコーナーは、子どもたちに大人気。「射的」「ボール飛ばし」など、何度も挑戦していました。

2026年3月14日(土)
午前9時～正午ごろ
※雨天の場合は15日(日)

蔵敷橋・日向橋上流
集合:蔵敷親水広場
(地図は裏側にあります)

解散:水沢の森(菅生緑地)

第39回 菅生バードウォッチング

・川と森と畑の野鳥をさがします。筆記用具をもってきてください。
・観察会のあとは、水沢の森でキンカンの実採取などします。

講師:柿沼 淳一、柿沼 淳子、市田 淳子、小久保 雅之、村岡 明代、片山 淳
(日本自然保護協会(NACS-J) 自然観察指導員)

主催:平瀬川流域まちづくり協議会 水沢森人の会

問い合わせ:本郷
044-977-7457
090-8682-7591

こちらからも申し込みます

急募

スタッフ募集

時間:13:00~19:00の間一日3~4時間程度
場所:稗原・菅生小学校わくわくプラザ
年齢:18歳~60歳
内容:遊びを中心とした放課後のこどもの見守り
その他:勤務日数は週1~4日程度
募集人数は若干名
勤務形態は毎月希望シフト制
☆時給などの詳細はお気軽にお問合せ下さい
お問合せ
稗原小希望者:菅生こども文化センター ☎044-976-0444
菅生小希望者:蔵敷こども文化センター ☎044-977-2755

3月のお知らせ

菅生こども文化センター 044-976-0444

3月4・11・18・25日(水) 15:00~16:30
あそべば 誰でも 無料
4日 七輪の日
11日 バドミントン大会
18日 春のお茶会
25日 すがお祭~みんなでもりアゲアゲ~
(25日に限り 14:00~16:30)

3月5・19日(木) 15:30~17:00
居菓子屋ぶん ~駄菓子屋さん~
誰でも 10円~ 一人150円迄

3月13日(金) 10:45~11:30
がおがおらんど ~めでたいかい!!~
未就学児親子 無料

3月15日(日) 10:30~12:30
のびのびサンデー ~フラワーブーケづくり~
誰でも(幼児は保護者同伴) 25名 無料 要申込

3月28日(土) 10:00~15:00
ONE ぱーく ~ナンとカレー作り
&もっとリーダーと遊ぼう~
小学2年から40名(内10名迄2年生)
要申込~3/23 300円

3月の工作
いつでも工作 すがお工房 ~はじき絵~
誰でも 無料
やりたい時に、スタッフに声をかけてください。

蔵敷こども文化センター 044-977-2577

3月4・11・18・25日(水) 15:00~16:30
あそべば(ぞうさんのポケット) 誰でも 無料
4日 卓球で遊ぼう
11日 第2回キャップ野球
18日 みんなであそぼう
25日 うさぎさんのポシェット~桜のリースづくり~

3月12日(木) 10:30~11:30
うりっこひろば ~ほかほかっこ~
未就学児親子 無料

3月13日(金) 16:00~17:00
だかし亭きらびい ~駄菓子屋さん~
誰でも 10円~ 一人150円迄

3月の工作
いつでも工作 ぞうしきクラフト
~オリジナルパンケース作り~
誰でも 無料
やりたい時に、スタッフに声をかけてください。

4月のお知らせ

菅生こども文化センター 蔵敷こども文化センター

菅生こども文化センター・蔵敷こども文化センターでは、4月に職員の異動があるかもしれません。こども文化センターは職員のもつ技能などを最大限生かして活動していますので、4月に何をやるかを公表することができません。ぜひ次号を楽しみにしてください。

訂正とお詫び

2月号のコール・エスプランサの「主な曲目」の所で誤りがありましたので、ここに訂正しお詫び申し上げます。

おんがく
作曲 誤:三宅悠太→正:木下牧子
浜辺の歌
誤:作詞まどみちお 作曲三宅悠太
正:作詞 林古溪 作曲 成田為三